

# 平成 29 年度 事業報告（概要）

## 1 総括

- 各施設の運営に当たっては、安定した収入の確保を図るとともに、効果的・効率的な事業執行に努め、法人全体として健全かつ安定した経営を維持した。
- 直営施設においては、地域や関係機関との連携を図りながら、利用者の自立に向けた支援の充実、就労支援事業での工賃向上に向けた取組みなど、サービスの向上に努めた。
- 指定管理施設においては、県施設の管理を適正、適切に行うとともに、多様化するニーズに柔軟に対応した質の高いサービスの提供に努めた。
- 社会福祉法人制度改革に対応し、議決機関としての評議員会を設置するなど経営組織のガバナンスの強化に努めるとともに、社会福祉充実計画を作成し、以下の取組みを実施した。
  - ・ 職員待遇の改善
  - ・ 先進的介護機器の導入
  - ・ 身体障がい児放課後等デイサービス事業の実施に向けた準備
  - ・ どうご清友寮を共同生活援助事業所に業態変更するためのスプリンクラー等の設置
  - ・ 視覚障がい生活訓練等指導者の養成
- 全国障害者スポーツ大会の本県開催にあたり、関係機関や障がい者団体等と連携を図り、大会の成功に向け取り組むとともに、障がい者の心身の健康増進と福祉の向上に寄与するため、障がい者スポーツの振興に関する諸事業を実施した。
- えひめ障がい者就業・生活支援センターとほほえみ特定相談支援事業所の一体的運用により、ワンストップ拠点として、障がい者の生活の質の向上や職業生活における自立を図った。
- 利用者が安心・安全に生活できる環境を作るため、全施設への防犯カメラ、非常通報装置等の設置や事業継続計画(BCP)の策定など、防犯・防災対策に計画的に取り組んだ。
- 愛媛県から新たに受託した「相談支援従事者スキルアップ研修事業」、「愛媛県障がい者相談支援従事者専門コース別研修」及び「愛媛県障がい者虐待防止セミナー」を適正に実施し、県下福祉職員の資質向上に努めた。
- ほほえみフェスタの開催や買物弱者への支援等地域のニーズを踏まえ地域社会に貢献する公益的な取組みを行った。

## 2 法人運営

### (1) 理事会の開催

第 1 回（平成 29 年 5 月 26 日）

- 平成 28 年度事業報告並びに収支決算について
- 平成 29 年度収支補正予算について
- 社会福祉充実計画について

- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団役員等報酬等支給規程の一部改正について
- 定時評議員会の招集について

第2回（平成29年6月21日）

- 理事長及び常務理事の選定について
- 評議員選任等委員会委員の選任について

（報告事項）

- ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況について

第3回（平成29年11月28日）

- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款の一部変更について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団特定職職員給与等支給規程の一部改正について
- 平成29年度収支補正予算について
- 施設長の選任について
- 評議員会の招集について

（報告事項）

- ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況について

第4回（平成29年12月25日）

- 電動ベッドの購入に係る入札の執行について

第5回（平成30年1月26日）

- 電動ベッドの購入に係る落札者の決定及び契約の締結等について

第6回（平成30年3月22日）

- 平成29年度収支補正予算について
- 平成30年度事業計画並びに当初予算について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款施行細則の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団役員等報酬等支給規程の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団総合職職員給与等支給規程の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団経理規程の一部改正について
- 評議員選任等委員会委員の選任について
- 施設長の選任について
- 評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催

第1回（平成29年6月21日）

- 平成28年度収支決算について

（報告事項）

- ・ 平成28年度事業報告について
- ・ 平成29年度事業計画並びに当初予算及び収支補正予算について

- 社会福祉充実計画について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団役員等報酬等支給規程の一部改正について
- 役員の報酬総額について
- 任期満了に伴う役員の選任について

第2回（平成29年12月11日）

- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団定款の一部変更について  
（報告事項）
  - ・ 平成29年度収支補正予算について

(3) 監査

平成29年5月17日 監事監査

3 施設の経営

- 施設数 13施設（直営施設7施設、指定管理施設等6施設）
- 職員数 総合職職員121名 特定職職員36名 嘱託職員65名（30.3.31現在）
- 施設の定員等

施設区分		サービス／定員	
直営施設	しげのぶ清流園	生活介護	60名
		施設入所支援	40名
		短期入所	5名
	しげのぶ清愛園	生活介護	34名
		自立訓練	6名
		就労移行支援	10名
就労継続支援（B型）		20名	
施設入所支援		40名	
短期入所		5名	
道後ゆう	共同生活援助	18名	
	生活介護	35名	
	自立訓練	20名	
	就労移行支援	15名	
ほほえみ工房ぱれっと道後	施設入所支援	40名	
	就労継続支援（B型）	40名	
どうご清友寮	宿泊型自立訓練	20名	
	共同生活援助	28名	

	福祉工房いだい清風園	生活介護 就労継続支援（B型） 施設入所支援	40名 15名 50名
	ほほえみ特定相談支援事業所	—	
指定管理施設等	愛媛県立愛媛母子生活支援センター	—	20世帯
	愛媛県身体障がい者福祉センター	—	
	愛媛県障がい者更生センター (道後友輪荘)	—	(宿泊)45名
	愛媛県視聴覚福祉センター	—	
	えひめ障がい者就業・生活支援センター	—	
	愛媛県障がい者スポーツ協会事務局	—	

#### 4 各施設の取組み（概要）

##### ○ しげのぶ清流園

- ・ ユニットケア方式により、利用者のニーズに即して生活できるよう支援するとともに、明るく、楽しく、生きがいを持ち、安心して過ごすことのできるきめ細かなサービスを提供することで、魅力ある施設づくりに努めた。
- ・ 先進的な介護機器の導入と効果的な活用によって、ノーリフトケアを推進し、利用者への安心・安全・快適なサービスの提供と職員の負担軽減に努めた。
- ・ 平成30年4月の放課後等デイサービスの事業開始に向けて、人員・設備等を整備した。

##### ○ しげのぶ清愛園

- ・ 年間を通しての支援研究により、職員が利用者の障がい特性に関する理解を深め、一人ひとりが精神的に安定して生活し、生き活きと取り組める日中活動を発案、提供することに努めた。
- ・ 地域の中で役割を持つ施設として、地域行事へ積極的に参加するとともに、地域交流の進展と生製品の販売促進を目的として、ふれあいの店を改修した。
- ・ 就労支援事業においては、農作業用トラクターの買い替えにより、農産物の収穫量増を図るとともに、作業種目の拡大等に努めた。

##### ○ 道後ゆう

- ・ 利用者のニーズに即したサービスの提供を行うとともに、多機能型事業所としての特性を活かし、機能訓練及び就労移行支援を継続的・効果的に実施することにより自立に繋げた。
- ・ 外部研修への参加や施設内研修の実施、関係機関との連携を図り、専門的知識やスキルが必要な利用者を積極的に受け入れた。
- ・ 老朽化した設備を更新し、利用者の安心・安全の確保に努めるとともに、電動ベッド等の導入により、利用者の生活環境の向上及び職員の負担軽減を図った。

### ○ ほほえみ工房ぱれっと道後

- ・ 利用者一人ひとりの意思と尊厳を尊重し、障がい特性に応じた就労支援の場を提供し、知識及び能力の向上を図るとともに、販路の拡大等により工賃の向上に努めた。
- ・ 利用者の健康管理に留意するとともに、行事等の開催により地域住民との交流を深め、日々の生活がより豊かになるよう支援した。

### ○ どうご清友寮

- ・ 利用者の自立に必要な生活支援を行い、利用者 10 名について地域生活への円滑な移行を図った。
- ・ 平成 30 年 4 月から共同生活援助事業所へ業態変更するため、スプリンクラーの設置や内装の改修を実施した。

### ○ 愛媛県社会福祉事業団共同生活援助事業所

- ・ バックアップ施設の職員と世話人が連携を密にし、利用者が地域で安心して暮らせるよう家事援助を行うとともに、就労や地域活動参加のための支援を行った。
- ・ 「外部サービス利用型」から「介護サービス包括型」へ業態変更し、利用者の高齢化等に伴う支援体制の強化を図った。

### ○ 福祉工房いだい清風園

- ・ 利用者のニーズと適性に即したきめ細やかな支援計画に基づき、利用者が生きがいを持って生活できるよう質の高いサービスを提供した。
- ・ 移動リフト、センサーマット、電動ベッド等を導入し、利用者一人ひとりに配慮した支援に努めた。
- ・ 交通の便が悪いため買物に不便を感じている地域の障がい者や高齢者に対し商業施設等までの送迎を定期的実施し、地域貢献に努めた。

### ○ ほほえみ特定相談支援事業所（愛媛県社会福祉事業団特定相談支援事業所）

- ・ 地域及び施設で生活する障がい者のニーズに基づき、関係機関等との連絡調整を行い、サービス等利用計画を作成し、定期的にモニタリングを実施して、障がい者の生活の質が高められるよう努めた。

### ○ 愛媛県立愛媛母子生活支援センター

- ・ 入居している母子が、心身共に健康的な生活を送りながら、経済的・精神的自立を目指せるよう、生活全般にわたる助言、相談等の支援を積極的に行った。
- ・ 経年劣化に伴う設備の修繕等については、その都度対応し、居住環境の維持・改善に努めた。

### ○ 愛媛県身体障がい者福祉センター

- ・ 「障がい者利用の促進」と「事業内容の向上」を目標に、関係団体との合同レクリエーション教室の新規開催、機能回復訓練の充実等、サービスの向上に努めた。
- ・ 全国障害者スポーツ大会の本県開催にあたり、競技力強化のための教室等を継続的に実施するとともに、県内全域の障がい者スポーツの普及に努めた。
- ・ ほほえみフェスタや関係団体とのレクリエーション教室の開催など自主企画事業を実施し地域住民との交流を図った。

○ **愛媛県障がい者更生センター**

- ・ 障がいのある方やその家族等が、気軽に安心して宿泊・休憩等に利用できるよう、サービスの向上に努め、「障がい者福祉の向上」と「安定した施設運営」の両立を目指して事業を実施した。
- ・ 全国障害者スポーツ大会の本県開催にあたり、選手、役員等が多数宿泊したことから、郷土料理を中心としたメニューの充実や衛生管理の徹底に努めた。

○ **愛媛県視聴覚福祉センター**

- ・ 視覚障がい者及び聴覚障がい者の自立及び社会参加を促進するための総合的な福祉サービスの拠点施設としての機能を発揮するよう努めた。
- ・ 視覚障がい者の生活訓練、情報の提供、聴覚障がい児の訓練、各種相談等、様々な事業の実施のほか、全国障害者スポーツ大会が開催されたことで、大会用点字冊子等の作成に携わり、視覚障がい者への情報提供に努めた。

○ **えひめ障がい者就業・生活支援センター**

- ・ 地域で生活する就職や職場定着が困難な障がい者に対して、様々な関係機関との連携の下、就業面と生活面における一体的な支援を行い、相談支援件数、就職者数のいずれも年度当初の目標を達成した。
- ・ 県から受託した障がい者マッチング事業においては、障がい者雇用に対する企業等への理解・促進に努めた。

○ **愛媛県障がい者スポーツ協会事務局**

- ・ 全国障害者スポーツ大会の本県開催にあたり、関係機関や障がい者団体等との連携を図り、大会の成功に向け取り組んだ。
- ・ 障がい者スポーツに対する理解と障がい者の社会参加を一層進めるため、東京パラリンピック等への出場を目指すパラスポーツ選手への支援や企業・大学等が障がい者スポーツを支える仕組みづくりに取り組んだ。